

事業所名 グループホーム 夢

日付 平成 20年 7月 14日

評価機関名 有限会社 アウルメディカルサービス

評価調査員: 医療機関経営者
実務経験10年以上

高齢者福祉・医療における
実務経験3年

自主評価結果を見る (工事中)

評価項目の内容を見る

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)

1. 評価結果の概要

講評

全体を通して(特に良いと思われる点など)(記述式)

今年度の介護目標は19年度と同じく、「ご利用者様あつてのグループホームです。一人一人の個性を大切に、温かい家庭を築きます」です。そして運営理念「安心と信頼」を目指しています。しかし今まではなかなか実現が遠かった。しかし今年度はホームに入ると一味違った雰囲気が感ぜられた。いままでは、統括がいなければ何もできない体制であったが、統括の病気で、統括自身、職員全員の力無くして何も実現できないことを悟り、各ユニットは管理者に任せ、その管理者を見守っていくポジションを確立させることに徹した。その結果、介護体制に余裕が見られるようになり、のびのびと介護する雰囲気が生まれ、職員からも笑顔が多く見られるようになり、全くと言っていいほど生まれ変わった。

玄関に入ってすぐのホールに「春が来た」、「夢に来た」の文字が。また、ホール脇の壁には年間行事で取った写真がある。そして、天気の良い日中は窓を開けて、自然の風を取り入れている。またホーム内の空気の入替えにも役立っている。エプロンを着た入居者が一生懸命、洗濯物をたたんだり、ネギを刻んだりしている光景がなんとも家族的な場面に見られた。ユニットは分かれているが、それにこだわらず入居者の方に隣のユニットへ配膳等をしてもらったり、職員同士で調味料などの貸し借りを行ったりする事で、上手に入居者の生活状況などが職員間で共有されている。どれをとっても、形だけでなくハートが入りだしたように感じる。

特に改善の余地があると思われる点(記述式)

やっと思改革が実りだしてきたようだが、開設者、オーナーのバックアップがもっとあれば、さらにハートが傾り、深く根ざせていけるのではないだろうか?今後の組織方針や体制に期待したい。

2. 評価結果(詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
記述回答	<ul style="list-style-type: none"> 現場での介護を通じて、職員には様々な資格を取ってもらい、成長してもらおうとグループホーム全体で取り組んでいる。 「家族としての付き合いをしよう」「いい所を伸ばしていこう」「もっと入居者の気持ちになって考えて行こう」など職員間で目標を決めている。 スタッフルームには「安全・安心」を掲げており、その人らしい生き方を目指している。 		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
記述回答	<ul style="list-style-type: none"> 家庭的な雰囲気を大切に、皆で協力して和やかな生活空間を作る努力をしている。 ユニットによっては、机や椅子の位置にこだわる方がいるので、名前を貼って気持ちを落ち着かせる工夫をしています。 		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
記述回答	<p>トイレ誘導は、入居者一人一人の経験やプライドを重視しながら、職員が必ず一人付いて言葉かけを行って安全に取り組むようにしている。またテレビのボリューム調整確認や、居室に入る時必ずドアをノックして入居者に確認してから入るなど、入居者を尊重した言葉かけを行っている。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	災害対策		
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
34	家族への日常の様子に関する情報提供		
35	運営推進会議を活かした取組		
36	地域との連携と交流促進		
37	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
記述回答	<p>サービス向上に向けて、もっと家族の意見を取り入れるべく、独自のアンケートを作成しています。また家族会を立ち上げ、家族の方に運営してもらっています。ホームでの行事には家族会の参加を3回以上予定しています。</p>		